

初めてピンクの帽子を被り、少しドキドキしながらも嬉しそうに階段を降りていた4月から、もう少しで一年が経とうとしています。幼児クラスになり、初めての運動会やバス遠足など喜びや楽しさをいっぱい感じながらたくさんの経験をしてきました。友だちと一緒に同じルールで遊ぶ楽しさやイメージを共有し、遊びを広げていく喜びを感じる中で、友だちの存在もどんどん大きくなっていきました。先月の劇遊びでは、“4匹のヤギのがらがらどん”のお話をアイデアを出し合いながら子どもたちと作ってきました。当日はたくさんの保護者の方が見てくださっている中で、少し緊張しながらものびのびと表現する姿が見られました。毎日の活動の中で、お互いに素敵だったところを言葉にして自然と伝える姿からも、友だちとの関係が深まってきていることを感じました。たくさんの経験を通して心も身体も大きく成長した子どもたちです。

4月からはいよいよひつじ組！！帽子の色が変わることや保育室が変わることを今から心待ちにしています。大きくなった喜びを感じ、進級を嬉しい気持ちで迎えられるように、残りの日々も大切に過ごしていきたいと思います。この1年間、保護者の方々と共に子どもたちの成長を見守り、喜び合うことができたことに感謝いたします。



劇遊びで初めて衣装を着けた時のことです。

Aくん「うわー！かっこいいね」
保育者「本当だね！本物のヤギみたいだよ！」
Bくん「ねえ、それじゃあ、先生もみんなみたいに仮装すればいいんじゃない？」

ハロウィンの時に年上のお友だちが着ていた衣装を覚えていたようで、“仮装”と表現していたことがとてもかわいく、面白かったです。また、担任と衣装を着れる喜びを分かち合おうと声を掛けてくれたことも嬉しく感じました。

ひつじ組で過ごす最後の1か月となりました。先日の保育参観では、保護者の方に見守られる中で、喜びとともに緊張もあったと思いますが、友だちと一緒に表現する喜びを感じながら取り組んでいました。始めの頃からやる気満々で、「きょうもプレーメンする!？」と楽しみにしたり、日を重ねるごとに台詞を言う声に自信が感じられたり、「こんなことしてみようかな？」と表現を工夫したりする姿が見られました。当日の朝は「ちょっとドキドキする…」という声もありましたが、劇が始まると、少しずつ緊張もほぐれ、のびのびと表現する姿を見せてくれました。友だちとアイデアを出し合ったり、相手のことを思って譲ったり、互いの気持ちを大切に作る姿など、日々の取り組みの中でも一人ひとりの大きな成長を感じることができました。これからも友だちと一緒に過ごすことの楽しさを感じながら、協力したり助け合ったりしてつながりを深めていってほしいと思います。

今月はお別れ遠足やお別れ会、卒園式など、卒園や進級を意識する機会が多くあります。この一年近くで見てきたぞう組の姿に憧れの気持ちを抱き、「もうすぐぞうぐみ!」と、期待と喜びの声を聞かせてくれます。大きくなった喜びと自信を感じて進級することができるよう、ひつじ組での残りの日々を大切に過ごしていきたいと思います。



先月は雪がよく降りました。ひつじ組の窓からは雪が降る様子がよく見えます。

Aちゃん「みて！めっちゃゆき！」
Bくん「こんなにふったらつもるんじゃない？」
Aちゃん「おいしそ〜！」
Bくん「ゆきってたべれるん？」
Aちゃん「くちあけたらたべれるってテレビでやってたで。」
Bくん「どんなあじなんやろ？」
Aちゃん「たぶんあまいとおもう！さとうとおなじいろやし!」

聞いているだけで楽しく、とても微笑ましいやりとりでした。

保育センターでの生活も残り1か月になりました。卒園して離れてしまうのは寂しいという声も聞こえますが、小学校に向けて、ランドセルが届いた喜びや小学校生活の準備を整え始めている話も聞こえ、就学への期待が高まっていることを感じます。ぞう組では、しあわせの村での『お泊まり保育』、友だちと心を合わせた『運動会』や『ページェント礼拝』、劇遊び『3まいのおふだ』など様々な経験をし、心も身体もすくすく大きく、たくましく成長した一年となりました。

ぞう組では2月から友だちのいいところ探しを始め、友だちの優しさに気付いたり、優しく接しようとしたりする姿が増えました。みんなの優しいところは周りの友だちや先生、そして神さまが見守ってくれているねという話をする子どもたちももっと周りの友だちを助けたいという思いが出てきたり、いいところ探しの発表の時間にもよく手があがったりするようになりました。

3月17日(火)にはお別れ会があります。今まで一緒に過ごしてきた他クラスのお友だちへ、プレゼントをしたいという話になり、カレンダーやモビール作りをみんなですることになりました。お世話になった先生たちにもカードを渡して感謝を伝える機会になればと思います。また、22日(土)には卒園式もあります。お別れの言葉や感謝の気持ちをいろいろな形で伝えられるように子どもたちと準備していきたいと思っています。そして残りの日々を神さまや子どもたちに関わるすべての方からの愛を感じながら、子どもたち一人ひとりが自信を持って就学に向けて歩いていけるようにしていきたいと思っています。



雪が降り始めた夕方のこと。わーっと窓の側に子どもたちが集まり…

Aちゃん「地面に雪、積もってきてる!」
Bくん「自転車で迎えだから積もる前に帰れたらいいな…」
Cちゃん「雪がぼたぼた落ちる音がするね」
Aちゃん「ほんとだー、いい音だね」
しばらくすると、BくんとCちゃんは遊びに戻りましたが、Aちゃんはじっとうつむいたままです。「どうしたの?」と担任が聞くと、「雪が早くやみますようになってお祈りしてたの」と、笑顔のAちゃん。Bくんの話を聞いてお祈りをするAちゃんの優しい気持ちが伝わってくるようほっこりしました。